



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2024年2月2日

上場会社名 エヌアイシ・オートテック株式会社
コード番号 5742 URL <https://www.nic-inc.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 会長兼社長 CEO (氏名) 西川浩司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 副社長執行役員 (氏名) 新夕秀典

TEL 076-425-0738

四半期報告書提出予定日 2024年2月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	3,553		411		413		566	
2023年3月期第3四半期								

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	103.90	
2023年3月期第3四半期		

(注)2024年3月期第1四半期までは連結業績を開示していましたが、第2四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2023年3月期第3四半期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	6,724		3,477		51.7	
2023年3月期	7,940		4,271		53.8	

(参考)自己資本 2024年3月期第3四半期 3,477百万円 2023年3月期 4,271百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		20.00		21.00	41.00
2024年3月期		20.00			
2024年3月期(予想)				21.00	41.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,100	6.6	142		139		79		14.49

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	5,500,000 株	2023年3月期	5,500,000 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	51,446 株	2023年3月期	51,446 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	5,448,554 株	2023年3月期3Q	5,448,554 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
3. その他	9
生産、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、2023年8月31日付で当社の子会社であったNIC Autotec(Thailand)Co.,Ltd.の清算が終了したことに伴い、第1四半期累計期間までは連結決算でありましたが、第2四半期会計期間より非連結決算に移りました。これにより第2四半期累計期間より四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同期との比較分析は行っていません。

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、混沌とした国際情勢に伴い世界経済の状況も刻々と変化し続けている中、先行きの不透明感が続きました。このような状況下において、当社主力製品である「アルファフレームシステム」の一般顧客向け販売は堅調に推移しました。しかし、自動化・省人化装置等については、様々な案件に対して積極的に取り組み続けているものの、AI等々、これからの驚異的な技術革新に対応するための半導体関連企業及びFPD製造関連企業の設備投資が来期以降にずれ込む見込みとなり、当第3四半期累計期間においての受注は低調な結果となりました。また、提案営業の強化、お客様の利便性を高める新製品の開発を推進するとともに、製造原価低減に向けた生産体制の見直しにも取り組んでいるものの、地政学リスクや円安に端を発した原材料価格の高止まりによる製造原価への影響は継続しており、利益確保が困難な状況が継続しました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は3,553百万円、営業損失が411百万円、経常損失が413百万円、四半期純損失は繰延税金資産の取り崩しが発生した結果、566百万円となりました。

なお、当社は第1四半期会計期間より、組織体制を見直し、これまでの3部門のうち「アルファフレーム部門」と「装置部門」を統合し「FA部門」とすることといたしました。この事業体制変更により、経営資源の更なる有効活用を推進してまいります。これに伴い、報告セグメントについても「FA部門」と「商事部門」の2部門へ変更しております。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

[FA部門]

FA部門におきましては、「アルファフレームシステム」の一般顧客向けの販売では依然として自動車部品業界の積極的な投資が差し控えられる中であっても、差別化を図った提案営業活動、すなわち当社独自の設計サポートサービス「カクチャTM」及び組立作業の省人化を可能とする「マーキングシステムTM」の積極的営業活動を行いました。また、装置品においては、複数のロボットシステム、生産設備及び洗浄装置等を受注いたしました。しかしながら依然として半導体関連及びFPD関連の市場全体の設備投資は延期傾向となっており来期以降に本格化する見込みのため、新規及び大型構造物案件等々において受注の鈍化が継続する状況となりました。

この結果、当部門の売上高は2,653百万円となりました。

[商事部門]

商事部門におきましては、主要顧客各社ともに消耗品や治工具類の需要が安定しており、これらの売上高は堅調に推移しており、これに加え、機械設備関係については複数の大型案件を受注いたしました。

この結果、当部門の売上高は899百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債・純資産の状況

当第3四半期会計期間末における総資産は、前期末と比べ1,216百万円減少し、6,724百万円となりました。これは主に、現金及び預金が71百万円、土地が92百万円、それぞれ増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が235百万円、電子記録債権が625百万円、関係会社株式が80百万円、繰延税金資産が142百万円、それぞれ減少したことなどによります。

負債は、前期末と比べ422百万円減少し、3,247百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が55百万円増加した一方で、電子記録債務が207百万円、短期借入金が50百万円、長期借入金が131百万円、それぞれ減少したことなどによります。

純資産は、前期末と比べ794百万円減少し、3,477百万円となりました。これは主に、四半期純損失の計上566百万円、配当金に係る利益処分223百万円があったことにより、利益剰余金が789百万円減少したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前期末と比べ71百万円増加し、429百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、516百万円のキャッシュ・インとなりました。これは減価償却費の計上が211百万円あったことや売上債権の減少による資金の増加863百万円があった一方で、税引前四半期純損失が391百万円、仕入債務の減少による資金の減少151百万円、未払消費税等の減少による資金の減少87百万円があったことなどが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、2百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは関係会社の整理による収入102百万円があった一方で、有形固定資産の取得による支出が96百万円あったことなどが主な要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、441百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは短期借入金の純減による資金の減少が50百万円、長期借入金の返済による支出が131百万円、配当金の支払額が222百万円あったことなどが主な要因であります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにおきましては、混沌とした国際情勢の中で、世界経済の状況も刻々と変わる先の読めない不透明な時代に、各国は戦略物質としての半導体のサプライチェーン構築に躍起となっています。このような状況の中、半導体製造装置周辺技術に強い当社は、今後も安定的な成長が見込まれます。

昨今の技術革新、特に半導体の飛躍的な進化により、AI等々、新たなマーケットが形成され、まさに新しい時代が始まった状況であります。このような状況において、多岐にわたる産業セクターにおいて革新的な自動化・省人化が加速度的に進行しつつあり、今後ますます高度なクリーンルーム及びF A関連機器・装置のニーズが高まることは、当社にとって継続的な追い風となります。

つきましては、今後のより高度なニーズにお応えするため、新経営体制による新組織構築に取り組み、オンリーワンとしての当社の強みを活かし、更なる営業強化を図っております。そして、いつの時代においても当社を取り巻くいかなる厳しい外部環境にも対処することにより、継続的な増収増益を見込んでおります。

以上から、当期の個別業績見通しは、変化の激しい市場動向及び業績動向を現在精査中のため、2023年11月2日に公表した個別業績予想からの変更はありません。

なお、今後の業績動向を踏まえ、通期業績予想の修正が必要と判断された場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	357,182	429,067
受取手形、売掛金及び契約資産	863,003	627,755
電子記録債権	1,324,337	698,788
商品及び製品	220,574	196,305
仕掛品	228,221	222,056
原材料及び貯蔵品	568,764	553,114
その他	71,707	34,963
流動資産合計	3,633,792	2,762,051
固定資産		
有形固定資産		
建物	3,685,219	3,689,003
減価償却累計額	△1,572,306	△1,665,754
建物（純額）	2,112,913	2,023,249
土地	910,693	1,003,545
その他	1,669,303	1,646,383
減価償却累計額	△948,160	△1,025,592
その他（純額）	721,142	620,790
有形固定資産合計	3,744,749	3,647,586
無形固定資産		
その他	27,709	21,112
無形固定資産合計	27,709	21,112
投資その他の資産		
その他	534,612	293,770
投資その他の資産合計	534,612	293,770
固定資産合計	4,307,072	3,962,468
資産合計	7,940,864	6,724,520
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	351,015	406,244
電子記録債務	866,629	659,462
短期借入金	150,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	197,000	197,000
未払法人税等	4,436	676
賞与引当金	63,829	31,778
製品保証引当金	845	769
受注損失引当金	—	1,516
その他	245,198	191,288
流動負債合計	1,878,954	1,588,735
固定負債		
長期借入金	1,409,000	1,277,500
退職給付引当金	237,129	235,191
その他	144,097	145,994
固定負債合計	1,790,227	1,658,685
負債合計	3,669,181	3,247,421

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	156,100	156,100
資本剰余金	146,100	146,100
利益剰余金	3,963,872	3,174,351
自己株式	△34,791	△34,791
株主資本合計	4,231,281	3,441,759
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	40,401	35,338
評価・換算差額等合計	40,401	35,338
純資産合計	4,271,682	3,477,098
負債純資産合計	7,940,864	6,724,520

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	3,553,397
売上原価	3,058,817
売上総利益	494,579
販売費及び一般管理費	905,753
営業損失(△)	△411,173
営業外収益	
仕入割引	2,777
受取配当金	1,682
その他	4,822
営業外収益合計	9,282
営業外費用	
支払利息	5,128
固定資産売却損	6,118
その他	126
営業外費用合計	11,373
経常損失(△)	△413,264
特別利益	
関係会社清算益	21,329
特別利益合計	21,329
税引前四半期純損失(△)	△391,934
法人税、住民税及び事業税	2,239
法人税等調整額	171,956
法人税等合計	174,195
四半期純損失(△)	△566,130

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失 (△)	△391,934
減価償却費	211,372
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△32,050
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△1,938
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△76
受取利息及び受取配当金	△2,753
支払利息	5,128
固定資産売却損益 (△は益)	6,118
関係会社清算損益 (△は益)	△21,329
売上債権の増減額 (△は増加)	863,566
棚卸資産の増減額 (△は増加)	46,084
仕入債務の増減額 (△は減少)	△151,937
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△87,876
その他	32,807
小計	475,179
利息及び配当金の受取額	2,412
利息の支払額	△5,128
法人税等の支払額	△2,784
法人税等の還付額	46,324
営業活動によるキャッシュ・フロー	516,004
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△96,964
無形固定資産の取得による支出	△3,670
投資有価証券の取得による支出	△3,600
関係会社の整理による収入	102,139
その他	△577
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,672
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△50,000
長期借入金の返済による支出	△131,500
配当金の支払額	△222,818
その他	△37,129
財務活動によるキャッシュ・フロー	△441,447
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	71,884
現金及び現金同等物の期首残高	357,182
現金及び現金同等物の四半期末残高	429,067

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

3. その他

生産、受注及び販売の状況

① 受注実績

当第3四半期累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
F A部門	2,820,869	—	869,802	—
商事部門	735,912	—	107,372	—
合計	3,556,781	—	977,175	—

② 販売実績

当第3四半期累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
F A部門	2,653,953	—
商事部門	899,444	—
合計	3,553,397	—

なお、当社は、第2四半期会計期間より非連結決算に移行し、四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期比を記載しておりません。